

第1章 運営計画の体系

1 計画策定の目的・趣旨

基本構想で掲げるビジョン「みんなが尊厳ある葬送を実現できるまち～葬送に不安なく、安心して暮らし続けるために～」を実現するため、基本構想に基づく取組結果や取組を具体化した計画

2 位置づけ



3 対象期間



4 基本構想と運営計画について

基本構想

- 将来の目指す姿を提示
- 基本目標と施策の方向性
 - ・ 意識醸成
 - ・ 火葬場
 - ・ 墓地
- 早期取組事項(A~O)

運営計画

- 成果指標(長期的目標)を提示
- 各取組内容とロードマップ提示
 - ・ 意識醸成
 - ・ 火葬場
 - ・ 墓地
- 進行管理、評価方法

第2章 札幌市の現状

札幌市が抱える問題

①意識醸成

- ・ 葬送に対する意識、行動
- ・ 高齢者が抱える孤独死に対する心配

②火葬場

- ・ 火葬件数の増加
- ・ 友引明け、午前中への火葬の集中
- ・ 里塚斎場の老朽化と構造上の問題

③墓地

- ・ 無縁墓の増加
- ・ 市営霊園の設備や管理事務所の老朽化
- ・ 霊園の維持管理・改修のための基金枯渇

○例)意識醸成に関する問題

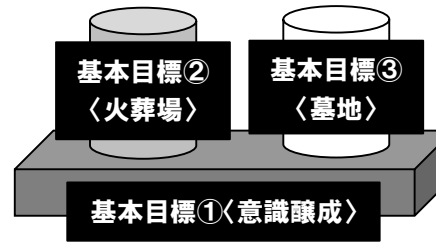


▶ 終活の重要性は理解されているがあまり実践されていない。

これらの札幌市が抱える問題に対応するためには、運営計画を策定し、計画的に各取組を進めていかなければならない。

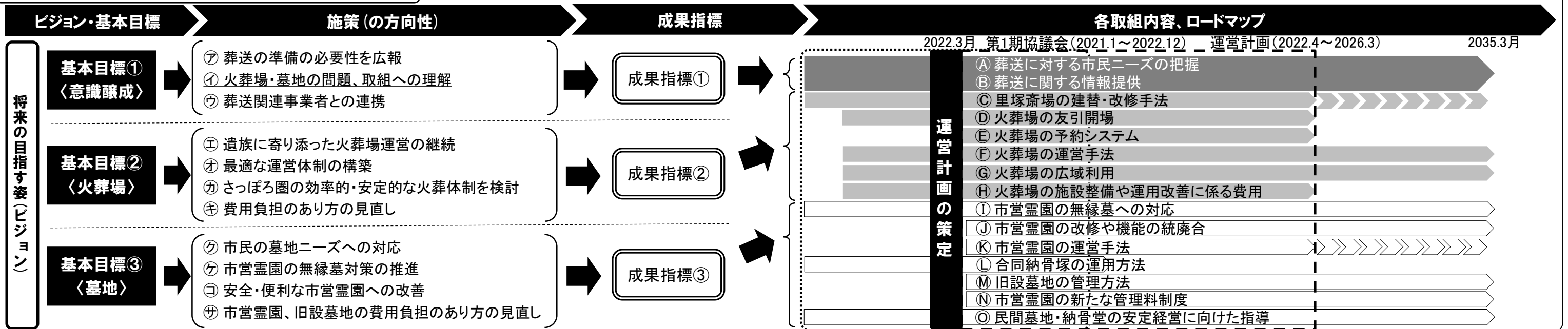
第3章 分野別施策①

火葬場、墓地の取組と意識醸成の関係性



「意識醸成」は、「火葬場」「墓地」の取組を効果的に進めるために欠かせないもの

ビジョン・各基本目標、施策の方向性と成果指標の関係性



第3章 分野別施策②

1 市民への「意識醸成」

- (1) ①葬送に対する市民ニーズの把握
- (2) ②葬送に関する情報提供

「意識醸成」に係る取組の関係性

意識醸成に係る主な取組

- ①葬送に関する市民ニーズの把握
- ②葬送に関する情報提供

市民の意識を醸成

市民や事業者の反応を踏まえ、情報発信のあり方を随時見直し

市民が葬送について考え、行動する

○成果指標(案)

葬送に関する終活をしている市民の割合

<把握方法>
アンケート調査

○参考指標(例)

Twitterフォロワー数
ホームページ閲覧数

(市民ニーズをさらに踏まえた) 情報提供③

更なる市民ニーズの把握

(市民ニーズを踏まえた) 情報提供②

市民ニーズの把握

情報提供

2 多死社会に対応した火葬場

- (1) ③里塚斎場の建替・改修手法
- (2) ④火葬場の友引開場
- (3) ⑤火葬場の予約システム
- (4) ⑥火葬場の運営手法
- (5) ⑦火葬場の広域利用
- (6) ⑧火葬場の施設整備や運用改善に係る費用

令和3年8月開催予定の第4回火葬場部会にて具体的な取組内容、成果指標等について協議する予定

3 少子高齢社会に対応した墓地

- (1) ①市営霊園の無縁墓への対応
- (2) ②市営霊園の改修や機能の統廃合
- (3) ③市営霊園の運営手法
- (4) ④合同納骨塚の運用方法
- (5) ⑤旧設墓地の管理方法
- (6) ⑥市営霊園の新たな管理料制度
- (7) ⑦民間墓地・納骨堂の安定経営に向けた指導

令和3年7月開催予定の第4回墓地部会にて具体的な取組内容、成果指標等について協議する予定

第4章 運営計画の進行管理について

1 推進体制(協議会の役割)

札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会

位置づけ 市民・事業者・行政の協働によって活動を行う場

総会

検討

- 総括的な立場での進捗管理
- 葬送についての意識醸成の取組を協議・実践

報告

火葬場部会

- 火葬場に関する具体的な取組の検討

墓地部会

- 墓地に関する具体的な取組の検討

役割

行政へ

- 施策の方向性に沿って進める具体的な取組に対して専門的な立場から意見をいただく(施策の進捗に対する意見)

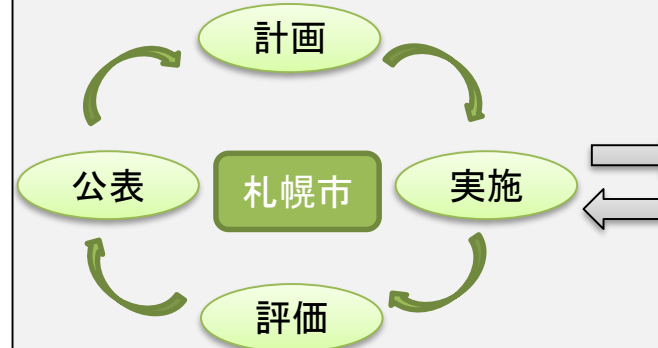
- 「運営計画」策定に係る助言・協力

市民・事業者へ

- 市民への意識醸成の具体的な働きかけ

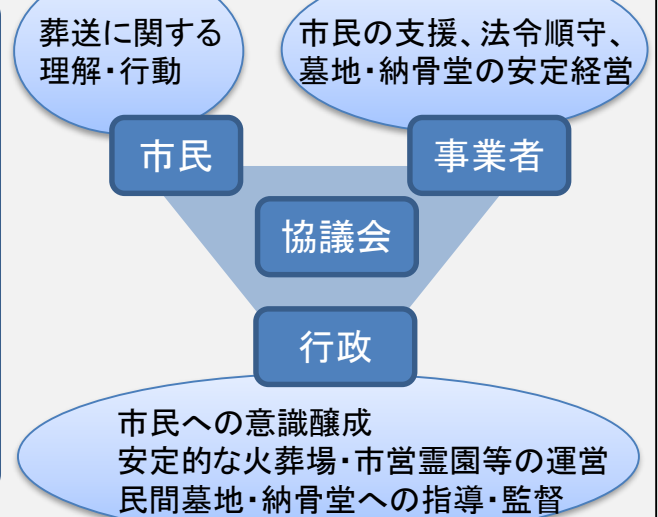
- 協議体の参画事業者から同業者に情報共有

2 進行管理と協議会の関わり方



「計画」「実施」「評価」「公表」の各段階で協議会と連携しながら進めていく。

札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会



<協議事項>

- ① 「意識醸成」に係る成果指標の設定
- ② 骨格案の構成